

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療機関行政情報システム改善事業費			担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始年度	平成5年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課		課長：佐々木 健			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	医療法第25条			関係する計画、 通知等	・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正について					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療法第25条の規定に基づく立入検査の実施を通して、地域における適切かつ効率的な医療の提供体制を整備し、医療の質の向上を図るため、立入検査結果データの集積を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県等からの報告データの集積システムを構築することにより、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等について検査)の結果について迅速かつ正確に報告・集計するものである。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	13	12	15	13	14			
	執行額	12	9	14						
執行率 (%)	92%	75%	93%							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	92%	75%	93%							
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	社会保障関係情報化業務 庁費	13	14	改元に伴う改修費用の増、サーバ及びサーバOSの更改						
	計	13	14							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	病院の立入検査における 検査項目に対する遵守率 を前年度以上とする	病院の立入検査における 検査項目に対する遵守率 ※27年度の実績値は集計 中であるため、27年度、28 年度の目標値は26年度と 同値とする	成果実績	%	98.6	集計中	集計中	-	-	
			目標値	%	98.6	98.6	98.6	-	98.6	
			達成度	%	100	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	都道府県等からの報告データの集計									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	都道府県等における病院の立入検査の実施率 ※27年度の実績値は集計中である。平成27年度、28年 度の見込みについては前年度以上とする。	活動実績	%	94.4	-	-	-	-		
		当初見込み	%	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額(X) / 立入検査実施病院数(Y) ※27年度、28年度の立入検査実施病院数は見込み値	単位当たり コスト	円	1,535	1,158	1,750	1,671			
		計算式	X/Y	12,312千円 /8,023病 院	9,288千円 /8,023病 院	14,040千円 /8,023病 院	13,406千円(当初予算) /8,023病院			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策大目標3: 利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること										
	施策	医療安全確保対策の推進を図ること(施策目標 I-3-2)										
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 33 年度	
		病院の立入検査における検査項目(事故報告等、医療の安全の確保を目的とした改善のための方策)の遵守率	実績値	%	98	-	-	-	-	-		
			目標値	%	98	98	98	-	98			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	都道府県等からの報告データの集積システムを構築することにより、医療法第25条第1項に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等についての検査)の結果について迅速かつ正確に報告・集計し、各都道府県等に情報提供を行うことにより、遵守率の向上に寄与し、もって医療安全、医療の質の向上が期待できる。											
	改革項目	分野:	社会保障									-
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
目標値		-	-	-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-				
	目標値	-	-	-	-	-	-	-				
	達成度	%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	病院における医療安全管理体制等の実態を把握し、良質な医療を提供する上で必要な事業であり、国が実施すべき事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を集積・分析・公表することから、国が実施することが適当。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を国が毎年度公表することにより、医療機関における立入検査項目の遵守に繋がり、医療の提供体制の整備、医療の質の向上に貢献しているものであり、優先度が高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	事業者の選定は、一般競争入札を実施することで競争性を確保している。平成28年度においては、結果的に一者応札となったことから、次期調達に当たっては、十分な公示期間を確保するとともに、入札説明会に参加したものの入札を辞退された者からヒアリングする等、より競争性が確保できるよう検討する。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札による落札方式によりコスト削減に努めている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	システムを運用するための保守・改善経費のみの支出であり、真に必要なものに限定している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	システムを運用するための保守・改善経費のみの支出であり、真に必要なものに限定している。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	28年度は成果実績については集計中であるが、26年度の成果実績については目標に見合っている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を国が集積・分析・公表を行うことは、一定の集約化が図られ、全国の状況を把握できる点で大変有効であり、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	都道府県等における病院の立入検査の実施率は、平成26年度において、94.4%となっており、高い水準となっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果については、国が全国集計結果を公表するほか、都道府県等が他の都道府県等の立入検査の状況を把握する上で有効であり、医療機関における立入検査項目の遵守に繋がっていると考えられる。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	都道府県における病院の立入検査は、平成27年度以降は集計中であるが、26年度までは高い実施率となっており、また、病院の立入検査における検査項目の遵守率についても高水準となっており、引き続き、立入検査実施率及び検査項目の遵守率を向上させることにより、医療の提供体制、医療の質の向上に貢献しているものとする。				
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目的が達成できており、このまま継続して事業を実施する。				
外部有識者の所見						
医療機関への立入検査の結果を報告・集計する事業であり、予算額は12～15百万円で執行率は高く、必要な事業と認められる。よって、現状維持とします。(増田 正志)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通	外部有識者の所見に記載のあるとおり、医療機関への立入検査の結果を報告・集計する事業であり、執行率も高いことから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
通 現 状	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	118	平成23年度	98	平成24年度	75	
平成25年度	73	平成26年度	79	平成27年度	85	
平成28年度	81					

